

ミニコミ版 Vol.15

## Cnetひたち

2015年11月2日

発行：コミュニティ NET ひたち

発行人：内田 芳勲

編集：久保 裕

ご挨拶 高齢化社会を存分に楽しもう ミニコミ誌第15号発行に寄せて

代表理事 内田芳勲

日頃の当会へのご支援に対し厚く御礼を申し上げます。一年が巡り今秋もミニコミ誌の発行の運びとなり、会員みなさんの声を聞けるのは大変楽しみなことです。

さて、日本人の平均寿命がさらに延びて女性は86.8歳で世界1位、男性は80.5歳で世界3位だそうで、誠におめでたいことです。長寿命化は、近頃「もう歳だから」などと言わず、各々が生き甲斐を見つけて自分の好きなこと、新しいことに挑戦する、いい意味での「年甲斐もない」高齢者が増えたことも一因ではないでしょうか。当会の会員の平均年齢は約70歳、この会で日々パソコンに親しみ、新しいことを学ぶとは、誠に愛すべき、そして頼もしい「年甲斐もない」高齢者の集団だと思います。群れて楽しむことで脳も活性化し老化防止、認知症防止、引いては健康寿命を延ばすことにつながりましょう。

なんにもしないで生きるより、何かを求めて生きようよ とはご存知水戸黄門の主題歌の一節、自らをエンカレッジしながら、新しいことに挑戦してこの高齢化社会を存分に生き楽しみたいものです。

## 理事・監事

ITC 技術の進歩とパソコン 久保 裕

電話機が進化してパソコン同様の性能をもったスマートフォン（スマホ）が普及してきています。このところスマホの売上が伸びていないようです。スマホの使用料金が高いのが一つの要因のようです。パソコンを使っている人はスマホでなくてもケイタイで十分で、スマホを使いこなすと便利ですが、パソコンのように使いこなすのは厄介です。

若い人はパソコンとスマホの両方を持つ必要がないからスマホだけでいい。そういう若い人との通話・コミュニケーションにはスマホが欠かせない。

パソコンの大きな画面とキーボードで、机の上でゆったりとパソコンライフを楽しむのが至福のときだと思うのですが、いかがでしょうか。

“アップグレード”の気持ち！ 星川 雄

パソコンの世界では、今話題のWindows10のように定期的に「(OSの)アップグレード」が行われて、新機能が追加されたり、不具合の修整が行われたりして居ます。「アップグレード」によって何が変わるのかが、楽しみであると同時に、人に教える立場では、その内容の勉強も大事になります。歳と共に体力の衰えなど、「ダウングレード」の方が気になっています。これは素直に受け入れつつも、自分自身の生活やCnetでの会員の皆様とのお付き合いの中では、“今の自分に出来る範囲内で、少しでもより良く！”という、「アップグレード」の気持ちだけでも、持ち続けることが大事だと思っています。“より良いCnet”が続くことを願っています。

三方(さんぼう)良しという言葉 宮垣久典

最近「三方良し」という言葉を知りました。売り手良し、買い手良し、世間良し、これは近江商人の心得をいったもので、売り手も買い手も共に満足し、また世の中の為になるのがよい商売であるということでした。このところ東洋ゴムの防振ゴムの不正、フォルクスワーゲン車の不正ソフト搭載、三井住友建設施工のマンション杭打ち不正と立て続けに大手企業の不祥事が続いています。これは最近の売り手だけ良ければ良いという風潮の表れでしょうか。私達パソコンを教え、Cnetを運営する売り手の一員として、本当に買い手である会員や市民の皆さんに満足して頂き、社会のお役に立っているのか改めて考えさせられる一言でした。

この場所で 佐藤 紀子

学生時代、こんな気持ちで勉強したことあっただろうか…。この春から、あるお店のホームページ作成、そしてインターネット美術館ホームページのリニューアルと勉強の機会を頂いて、夢中で過ごしたこの半年。私にはまだまだ荷の大きな分野なのでハードな時間でもありましたが、でもそんな時間の後に待っていたものは何よりうれしいご褒美でした。「出来の良し悪し」は二の次に、過分な言葉で労ってくださった代表理事はじめ先輩・仲間たち。天眼鏡が必須のこの歳で勉強の楽しさを知ったのも、こんな時間が過ぎせぬのも、それを支えてくれる場所があるからこそですね。大切なこの場所で、もう一歩前に進めたらと夢見ています。



### プレゼンテーション体験 宮原養治 侶

CnetのPC教室ではプロジェクターがありプレゼンテーションが可能である。講座テキストに「パワーポイント自由自在」を使用したこともあり良い機会なので受講生の方々にも各自の趣味、関心事などのテーマ決め、構想、パワポ作成、プレゼン発表まですべてを自力で体験して戴いた。私も退職後に考えたこと、実施してきたことを整理する機会を得て「パソコン活用事例」と題し発表した。受講生の方々には発表までテキスト片手に大変なご苦労をされたが、プレゼン内容は個性に溢れ大変すばらしい出来栄で痛く感動した。これらの体験はCnetのPC教室だからこそできたことだろうし今後のパソコン活用の自信にもなるだろうと確信している。

### ベストエフォートとギャランティー 金谷 俊治

現役時代、職務柄購入先や系列会社の品質監査を職務の一部としていた時のことです。

会社幹部より品質監査を実施する以上相手に不具合を出させないこと。もし不具合が出た場合は品質監査が無益だったことを自覚し相手にペナルティーを課すこと、という極めて厳しい命令/指示があって痛く困惑したことを今も鮮明に覚えています。

現在の私たちの業務に置き換えてみますと、受講料を頂戴してPC講座を実施する以上、受講生が、その講座の技法を使えるようになるまで指導せよ、となります。ベストエフォート(やれるだけのことをやります)ではなく、ギャランティー(これだけは保証します)ということでしょうか。

### カメラを買っちゃいました 高松 良一

最近、カメラを買いました。高橋さんが持っているような、ソニーのミラーレス機です。ちょこまか動く孫をうまくとりたいと思って高速機を買ったことも理由の一つですが、なかなかうまく捕まりません。袋田の滝に行ったり、海浜公園に行ったりして、練習していますが、結果として写したものが今までのバカチョンと何が違うの?というのが、周囲の評判です。PCのメモリはバカみたいに食うのに・・・露出補正だのいろいろな技術が必要のようです。望遠レンズもついて、ある店でとても安かったので衝動的に買ってしまいました。これから努力して値段に見合った「芸術的写真」「まともな写真」を撮ろうと思います。

### 多くの受講生との出会い 小澤 正明

私は3年ほど前から県北の講師、サポートなども担当しています。

県北の講座では、担当した講座の受講生との出会いは、推定で延べ100人は超えていると思われま。その多くは70歳代前後の方と見受けられます。

時折、休憩時間などに雑談をするとき、特に男性の方などと話をしていると、さまざまな経歴をお持ちの方がおります。短い時間の中での話なので多くの話ではできませんが、私にとって耳新しく参考になる話も多くあり、このような話をしていると講座中の緊張感からちょっとだけ和らぐ時があります。

今後もこのような新鮮な出会いを大切にPC講師を続けていきたいと思ひます。

### 奇術とパソコン 衣鳩 新一

奇術とパソコンはよく似ていると私は思う。どちらもタネ(ソフト)が無ければ人は感動しない。舞台上で演ずるプロの手先の鮮やかさは、技術習得者の躊躇いのないマウスの動きやキーボード操作に通じる。仕掛け(アプリ)を入手しても一朝一夕には達人の域には達しない。やはり、観客(生徒さん)の前では、華麗に演(操作)じたいものである。繰り返し練習し、自分の物にしないと、ミスした時のさりげない修復に対応できない。修得したい仕掛け(アプリ)は沢山あるが、先ずは、由緒あるチャイナリング(ウィンドウズ10)を選択(インストール)し、華麗に演(操作)ずる自分を想像し鍛錬する。やがて自己満足的な喜びに浸れる瞬間が待っていると信じて。

### たまには空を眺めてみませんか 大島 興洋

俳句の題材にならないかとの思いもあり時々空を眺める。流れ星はオリオン座をはじめ年に数回流星群が活発化する時があり見ることが出来る。七夕は梅雨時期で星は見えないことが多い。今年の中秋の名月は9月27日だったが満月は翌28日スーパームーンでいつもより大きくきれいに見えた。10月8~10日朝5時頃東の空に三日月と星がきれいに見えた。月と金星・木星・火星・水星の4惑星が同時に見えるのは数十年に一度の珍しい現象とのことであつた。日本人油井さんが滞在する宇宙ステーションも90分に一回地球を回り一等星の明るさで見える。

世の中殺伐とした事件が多くなっている時空を眺めて穏やかな気持ちになつては如何でしょうか。

## 理事退任のメッセージ

### 理事退任にあたり 高橋 正

事務局担当の理事に就任したのは平成14年7月です。その後13年間内田代表の元で事務局長として当会の発展に努力して参りました。

しかし今年、後期高齢者の仲間に入り、仕事の効率も落ちて来たので、役員の任期満了に伴い理事を降り、事務局長を高松良一理事にバトンタッチしま

した。7月から事務局員として若い小澤正明さんと山崎勝敬さんも加わって強力になり、今後新体制で会員へのサービス、事務効率が一層向上するものと期待されます。

代表付として事務局に残ることになりましたので今後とも宜しくお願いします。

## ★★★★ 会員の便り ★★★★★

## タブレットを旅の供に

百地 康

タブレットを手にして旅することで、活動の世界が広がりました。旅先で何かに気づいた時、タブレットで写真を撮り、フェイスブックで発信すれば、友達からの「いいね」が届くのも楽しみの一つです。

最近では新聞の記事も動画付の記事が増えてきているので、IC タグでタブレットに読み取り、記録しておけば、いつでもどこでも記事の内容を紹介出来て、友人達と語る話題も広がります。タブレットに最近のLTE 機能を付けておけばWiFi 信号の無い所でもGメールで発信・受信が出来て便利です。

## 今年の6月に入会し

山崎 勝敬

事務局での業務、交流会やデジカメ同好会の活動等を通して驚いたこと。

第1は、目的を持って何かをやり遂げようとする志の高さ。「先生、これがやりたいんだ」とPCへ向かう姿に、素直に頭が下がりました。

第2に、講師陣の熱意。少しでも皆さんにレベルアップしてもらいたいと、愛情豊かに接する姿。

第3に、皆さんが明るく楽しんでおられること。まさに「群れて楽しむ」が実践されていました。

このような素晴らしいCnet ひたちをこれからも続くよう、皆さんと一緒に活動したいと思います。

## ★★★★ パソコン教室の講師からの便り ★★★★★

## パワーの源

村山尚子

パワーは若い人からだけ頂けるものではありません。ここ数年私は県北講座の「よくわかるパソコンゆっくり入門」のサブ講師を担当させて頂いています。講座に参加する方々は殆んど年齢的に私より先輩の方々ですが朝は講座の始まる30分以上前に来られて復習されていたりお休み時間も質問されたり大変熱心にパソコン学習に取り組まれています。そのやる気満々の姿勢を目の当たりにして私も良きインストラクターであらねばと自然とパワーが出てくるのです。

パソコンは私に今までとは違ったものも与えてくれています。

## 老夫妻パソコン奮戦中

三宅 伍

3年前にCnetに入会された老夫婦（主人88歳、妻86歳）はパソコン講座を受講中。テーマは団地内の回覧板、趣味の会の名簿でWordとExcelを勉強している。インターネット検索で季節のお花などを取り込んで、完成した作品に彩りを添えている。年末には、年賀はがき、喪中はがきを立派な作品に仕上げている。最近ではテキストの例題を参考にしてWordの表作成にも挑戦している。

講座時間中コーヒータイムも惜しんで面白くて時間の経つのが早いとパソコンに取り組んでおられる。

## ★★★★ ワーキング・グループ&amp;趣味の会からの便り ★★★★★

## パソコン探検少年団の子どもたち 根元直子

探検団の発足当初から指導員をさせていただき、最近はブログ利用のHP講習を担当しています。

インターネットの情報は、真偽不明、有益ではないものもあり、発信の責任が問われます。データのコピー貼り付けが容易で著作権も留意すべきこと。技術もさることながら、自分で考えたオリジナル情報発信に心がけるよう指導しています。

社会変化に伴い、子どもたちも年々変化していると感じます。個性的な団員との時間は、楽しくもあり、また考えさせられるひと時でもあります。

## 俳句の会とパソコン

村山 典男

俳句の会ではメンバーが幹事にメールで投句し、幹事がエクセルで一覧表にまとめ句会で配布します。句会では各メンバーや先生による選句が行われ、また投句すべてに対して先生の講評と添削がされます。幹事は句会の結果を一覧表にフィードバックし、メールでメンバーに送ります。体調不良などで欠席の人もメールで投句し、結果を受け取ることができます。

当会は今年120回、10年を迎えました。毎回の記録もパソコンに蓄積され過去を振り返ることも容易です。石の上にも3年。皆さんも参加してみませんか。

## デジタル写真同好会活動について 小林 明光

今年も秋の撮影会とその作品の発表会で大方の活動が終わる。撮影会には、会員以外の方とも交流の場がもてることはありがたいと思っています。今後の当会の活動方向を考えると、当会員の得意分野であるデジタルデータや画像処理ソフトやカメラの仕組みを理解しやすいという力を生かした中で、作品に自分の感性を盛り込める技術を進歩させてゆくことも大事だと思います。例会にあわせて、古い写真のデータを使ったりせず、自分の最新技術で表現力を仲間へ問う機会としてゆきたいと思っています。

## デジカメ写真同好会に入会して 小川正信

デジカメ同好会に入会してもう直ぐ2年になります。月例会での発表・講評など毎月第一週に開催されるこの日は絶対に仕事は入れないようにしています。まだまだ駆け出しで先輩方の作品には足元にも及びませんが、種々のご指摘を頂き入会当初よりも少しは進歩したかな！と自己満足をしている次第です。どんな写真を撮ろうかな！と悩むことも頭の活性化に少しは良いのではないかと思います。外出時にはいつもカメラを持ち撮影しています。またチョイ乗りして距離を延ばしての撮影も楽しんでいます。

## パソコン教室からの便り

## 能楽とパソコン

白石 陽一

私にとってパソコンを学ぶ理由の一つは、趣味の能楽にその機能を利用したいと考えてのことである。画像処理や、音声編集、インターネットや電子メール、Office アプリ、そのどれもが能楽愛好者には有益な力を与えてくれる。今回、初めて能楽会番組表を Word で完成した。能楽の番組表には独特の決りがあって、仕舞・舞囃子・連吟にシテ・ワキ・ワキツレ、地謡・地頭、など配列と配置が決まっている。文書編集アプリである Word の機能をフルに生かすには矢張りパソコン教室の講座が有益であった。

## パソコン再挑戦

松村 英子

初めてパソコンを操作し、同じ事を何度教えて頂いてもパソコンの前で固まった。進む度に覚えるより忘れる事が多く、暫く休んでいました。しかし、もう少し進んでみたいし、ボケ防止にもなるのではと思い再挑戦しています。

デジカメ撮影のテクニック、撮った写真の補正方法を知り、庭の花の写真を八ガキの片隅に印刷し、友達に便りを出せた事。エクセルで合計計算ができた事等。再度パソコン教室を続けなければこの喜びを感じる事は出来なかったと思い、先生方に感謝。

## 米寿でパソコン手習い

小野寺辰男

パソコン教室に通いはじめて丸3年になる老夫婦です。パソコンの操作もわからず80歳を過ぎて講座の受講はじめました。パソコンを始めたきっかけは、年賀はがきを自分達で作ることが出来るようになりたいこと、またボケ防止になると思い入会しました。先生方には優しく、わかりやすく何度でも親切に教えていただき感謝しています。若い人たちと一緒になごやかに楽しみ、元気ももらっています。

この原稿は自分たちで、ワードで作成しました。これからもパソコンを友として皆さんと一緒に勉強したいと思っています。よろしくお願いします。

## パソコン教室入門のきっかけ

大内すみ子

パソコンに触ったことすらない私がパソコン教室に入るようになったきっかけは、友達の「楽しいよ～。面白いよ～」の一言でした。入ってみたところ、やっぱり大変でした。キーボードの配列や名前を覚えることから始まり、マウスを上手に操作出来ず、大きく振り回して、この机のスペースはなんて狭いだろうと四苦八苦。これも今では笑い話。そんな私をいつも穏やかな表情で、繰り返し指導して下さっている宮垣先生には、本当に心から感謝しております。今では、ワードの楽しさ、エクセルの驚きなどなど...あの時の友達の「楽しいよ～」の一言に納得です。有難う!

## 3年目を迎えて

篠原 利枝

私は、普段、学童保育の仕事に携わっております。最近、書類や掲示物が少しずつ手書きからパソコンでの文字や図柄へと進歩し、子供たちにもとても喜ばれております。(自己満足かも知れませんか?)

また、自分で撮った写真もパソコンに取り込み、文字や音楽を入れて保存でき、老後の世界も広がりました。通い始めた頃は、(今もそうですが)よく「すいませーん、画面が消えました」とか、「ちょっと、ストップ!」と、よく言っていました。これからもご指導の程、よろしくお願い致します。

## フォトブックを作る

井上恵子

パソコンでは Word や写真編集など、iPad では様々なアプリの楽しみ方などを習得できました。

今は、フォトブックの作成にはまっています。旅の写真や思い出の写真のアルバムが安価に作れます。

昨日が義父100歳の誕生日で、100年間の思い出のフォトブックを作ろうと思いつきました。昭和時代の写真は、傷んでいたものが多かったのですが、iPhoneで撮り直し画像補正の処理をしたら、かなり綺麗な写真になりました。早速、写真の編集機能を利用してフォトブックを作ろうと思っています。

## パソコンでCDラベルを作った

菊池一郎

懐メロファンの私ですが、NHK ラジオ深夜便放送を10年前まで10年間ぐらい、好きな懐メロ番組をカセットテープに300本ほど録音しました。

その後、120分の録音カセットテープの販売がなくなり、放送番組が録音できなくなりました。録音したテープをそのままにしてはテープが劣化して聴けなくなると思い、テープをCDにダビングしました。習得したパソコンは、CDラベルを作ることに役立ちました。数百枚のCDは、ラベルにタイトルを入れたことで、きれいに整理することが出来ました。

## 本づくり挑戦の動機

横須賀 元也

先日、世話になった叔母の13回忌の法要に招かれ出席した。叔母の子供とその伴侶・孫など合せて40人ほど出席したが、小生が知って居るのは従兄弟夫婦の8人とその子供数人だけで、4分の3ほどの若い人たちとは初対面だった。しかし同じ親戚の一員として自分が知っている先祖のこの一部でも伝える事が年を重ねた者の責務ではないかと思い、祖父母・父の兄弟について本に纏めようと、久保さんの本づくりの門を叩いた。まだ資料集めの段階だが何とか来年には完成させたいと努力中である。

(掲載順序は入会日の順)

